

第1号様式(第10条関係)

令和 2年 4月 28日

沖縄県議会議長 殿

会 派 名 会派おきなわ

代 表 者 名 瑞慶覧 功



令和元年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和元年度 政務活動費収支報告書

会派名 おきなわ

1 収 入 政務活動費 9,600,000 円

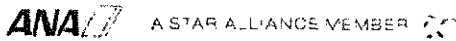
2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	2,980,970	東京視察(2名)、ベトナム視察(6名)、ベトナム・カンボジア(4名)、台湾(8名)旅費・移動費
研 修 費		
広聴広報費	2,110,462	ホームページドメイン・ホスティング費用 議会報告書作成費
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費	32,567	コーヒー・お茶等
資料作成費		
資料購入費	121,800	新聞購読料(日本経済新聞・琉球新報・沖縄タイムス)
事 務 費	683,825	事務用品、郵送費、複合機使用料・リース代、電話・FAX料 NHK受信料、その他
人 件 費	3,582,852	給与・賞与・労働保険料 健康保険料・厚生年金保険料・子ども子育て拠出金
合 計	9,512,476	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 87,524 円



領 収 書
赤 嶺 昇 様

印紙税申告納
付につき芝
税務署承認済

¥ 5 8 , 2 2 0 (税込)
(クレジット支払い ¥58,220含む)

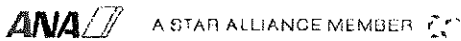
但し、旅客運賃料金として、
上記の金額正に領収致しました。
全日本空輸株式会社

- 1. 2019年 5月 8日 ANA 996 便 沖縄⇒東京
- 2. 2019年 5月 10日 ANA 471 便 東京⇒沖縄

購入日:19-04-26 発行所:ANA 9999
発行日:19-05-10 TKT: V9TWCT

本領収書は再発行不可となります。
端末番号: 3359 * 19785

5/8 ~ 10
東京視察航空運賃
那覇 ⇄ 羽田 (3名分)



領 収 書
平 良 昭 一 様

印紙税申告納
付につき芝
税務署承認済

¥ 5 8 , 2 2 0 (税込)
(クレジット支払い ¥58,220含む)

但し、旅客運賃料金として、
上記の金額正に領収致しました。
全日本空輸株式会社

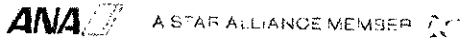
- 1. 2019年 5月 8日 ANA 996 便 沖縄⇒東京
- 2. 2019年 5月 10日 ANA 471 便 東京⇒沖縄

購入日:19-04-26 発行所:ANA 9999
発行日:19-05-08 TKT: C9RGX7

本領収書は再発行不可となります。
端末番号: 3499 * 19785

充当割合 10/10
調査研究に係る
費用の為

参加議員
・赤嶺昇
・平良昭一



領 収 書
玉 城 満 様

印紙税申告納
付につき芝
税務署承認済

¥ 5 8 , 2 2 0 (税込)
(クレジット支払い ¥58,220含む)

但し、旅客運賃料金として、
上記の金額正に領収致しました。
全日本空輸株式会社

- 1. 2019年 5月 8日 ANA 996 便 沖縄⇒東京
- 2. 2019年 5月 10日 ANA 471 便 東京⇒沖縄

購入日:19-04-26 発行所:ANA 9999
発行日:19-05-10 TKT: 795484

本領収書は再発行不可となります。
端末番号: 3359 * 19785

¥ 174,660-

領収証

ホテル ルポール 麹町

麹町会館

東京都千代田区平河町2丁目4番3号
〒102-0093 TEL.03(3265)5361

お名前
GuestName 沖縄県議会 会派おきなわ 様

お部屋番号 ROOM No.	ご人数 PERSON	泊数 NTS	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	No.
9010	3	2	2019/05/08	2019/05/10	2019/05/10 07:31	465873-0-0

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 EXPLANATION	単価 PRICE	数量 QTY	料金 CHARGE	お支払 CREDIT
05/08	605	ランナーズプラン	11,100	1	11,100	
05/08	1205	ランナーズプラン	11,100	1	11,100	
05/08	1206	ランナーズプラン	11,100	1	11,100	
05/09	605	ランナーズプラン	13,900	1	13,900	(うち. 13,100)
05/09	1205	ランナーズプラン	13,900	1	13,900	(うち. 13,100)
05/09	1206	ランナーズプラン	13,900	1	13,900	(うち. 13,100)
(内消費税額 5,015円)					75,000	0
差引ご請求金額 BALANCE DUE					CR	75,000



ご利用金額には、宿泊税 300円が含まれています。

ご利用いただきましてありがとうございます。
またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you very much for your patronage.
May we have the pleasure of serving again.

ご署名
SIGNATURE

ご請求先
COMPANY

ご請求先住所
ADDRESS

印紙税法
第5条の規定
により収入
印紙貼用せず

東京視察宿泊費 (3室 × 2泊) 5/8~2泊。
充当割合 1/10 調査研究に係る費用の為
充当対象額: 13,100円 (上限)
11,100円 × 3室 + 13,100円 × 3室 = 72,600
赤嶺昇 ・ 平良昭一 ・ 玉城満

¥ 72,600

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 97号

2019年05月08日

乗車料金
¥1320円

立付金
円

上記の通り正に領収致しました。

糸満タクシー (名)
沖縄県糸満市宇兼城482番地
TEL (098) 994 0895
お忘れ物やご要望がありましたら
上記のTELまでご連絡下さい

5/8 県議会 → 那覇空港
タクシー移動費
充当割合 10%

直前まで会議を行っていた為
タクシーを利用

領収証

利用年月日 2019年05月08日

取引内容 乗車券発売
ご利用金額 1470円

・毎度ありがとうございます。
・この領収証は大切に保存してください。

発券駅名 羽田空港第2ビル
券番号 4996
東京モノレール株式会社

5/8 羽田空港 → 浜松町
モノレール移動費
充当割合 10%

調査研究に係る費用の為

1人あたり490円 × 3名分

¥ 2790-

2019年 5月 8日(水)

沖縄県議会

領 収 証

会派 おきなわ様

¥ 1 4 , 5 8 0 -

クレジット計 ¥14,580

但し、商品代として

Suger 那覇空港店
沖縄県那覇市鏡水150番地
那覇空港旅客ターミナルビル2F
TEL 098-858-2626

担当者

0001-1561

* 財布等で保管載く場合、印紙面で内側に折って保管願います。

訪問先への土産代 4ヶ所

$$1620円 \times 4ヶ所 = 6,480円$$

- ・外務省 バトナム担当
- ・外務省 カンボジア担当
- ・国交省
- ・バトナム大使館

※ 訪問先への土産代のみ充当
調査研究に係る費用は

¥6,480-

No.4706
領収書
 2019年05月10日
 車番001488 800
 メーター 970円
 迎車料金 310円
 運賃合計 1280円

合計 1280円
 平和タクシー株式会社
 お忘れ物、お気付けは、
 03-3370-1368
 ご用命は、東京無線
 03-3361-2111

5/10 バトナム大使館 → 渋谷
 タクシー移動費
 充当割合 1/10 電車での移動が不可為
 タクシー利用

5/10 渋谷 → 品川 電車移動費
 充当割合 1/10
 調査研究に係る移動費の為

<p>領収証 様 ご利用日付 2019年05月10日 時刻 09時43分 取引内容：乗車券類 購入金額 金170円 お支払方法 内訳 現金 金170円 伝票番号 60798 ・この領収証は大切に保存してください。 ・毎度ありがとうございます。 渋谷駅 券205発行 JR東日本</p>	<p>領収証 様 ご利用日付 2019年05月10日 時刻 09時42分 取引内容：乗車券類 購入金額 金170円 お支払方法 内訳 現金 金170円 伝票番号 60797 ・この領収証は大切に保存してください。 ・毎度ありがとうございます。 渋谷駅 券205発行 JR東日本</p>	<p>領収証 様 ご利用日付 2019年05月10日 時刻 09時44分 取引内容：乗車券類 購入金額 金170円 お支払方法 内訳 現金 金170円 伝票番号 60799 ・この領収証は大切に保存してください。 ・毎度ありがとうございます。 渋谷駅 券205発行 JR東日本</p>
---	---	---

領収書

おまつり 様
 ご利用年月日 2019年 5月10日
 時刻 10時04分
 取扱内容 : 乗車券精算・発売
 領収金額 1,230円

上記金額正に領収いたしました。

この領収書は大切に保存してください。
 ご利用ありがとうございます。

360C
 NU. 0022 品川駅 係員 []
 京浜急行電鉄株式会社

5/10 品川 → 羽田空港
 電車移動費
 充当割合 1/10 (410円×3名)
 調査研究に係る移動費の為

7,3020-

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年月日	令和元年年5月8日(水)			
場所	東京都			
相手方				
目的	外務省、国土交通省への調査研究			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月8日(水)	12:55	那覇空港よりANA996便 羽田へ移動	15:20羽田空港着
		16:00	モノレール・タクシー 乗り継ぎ	17:00ホテルルポール麹町着
内容	9日の外務省、国土交通省との調査研究の為の移動			
成果及び所見				
備考				

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年月日	令和元年年5月9日(木)			
場所	衆議院議員第1会館第8会議室			
相手方	外務省、国土交通省			
目的	ベトナム国・カンボジア国との外交状況、沖縄県の港湾整備についての研究			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月9日(木)	10:00	衆議院議員第1会館第8会議室	ベトナム国との外交状況について カンボジア国との外交状況について 沖縄県の港湾計画とクルーズ船 パース整備
		11:00	衆議院議員第1会館第8会議室	
		14:30	衆議院議員第1会館第6面談室	
内容	沖縄県が進めるアジア経済戦略構想の中で、急激に発展しているベトナム国への経済協力の可能性を探り、企業進出及び人的交流の機会の効果的活用の推進の可能性調査を行い、隣国であるカンボジア国も同様の調査を行う。沖縄県重要港湾の今後の方向性と整備計画、クルーズ船誘致についての今後の方向性の調査。			
成果及び所見	外務省アジア大洋州局の古館、米澤両課長補佐、国際協力局の鈴木、林両主査の4名からベトナム国及びカンボジア国の現状を説明。ベトナム国は世界有数の親日国で、文化的親和性、日本及び日本人に対する高い信頼性がある。中所得国化を経て、マクロ経済安定化と好調な成長率を実現し、安定的な経済成長の時期にある。国際社会での地位向上と政治的安定、比較的安価で優秀な労働力。生産拠点および市場としての魅力が溢れている。日本との関係も、アジアの平和と繁栄のための広域的なパートナーシップで、日本はベトナムにとり第2の投資国であり、第4位の貿易相手国でもある。沖縄の戦略的な経済政策進出の可能性は大きいと思う。その反面、カンボジア国は内戦の影響がまだ色濃く残る経済状況で、産業振興支援、生活の質向上、ガバナンスの強化を通じた持続可能な社会の実現が重点になっている。国家予算の2割を外国援助に依存している状況下での経済交流はかなり厳しい。ただし地域の連結性と域内の格差是正の鍵を握る国であり、潜在的な開発の可能性を残している国である。そして国土交通省港湾局計画課の花田課長補佐、クルーズ振興室稲葉課長補佐から沖縄県重要港湾の説明を受けた。平成31年度の整備として、那覇港国際クルーズ拠点事業(新規)、那覇港予防保全事業、中城湾港予防保全事業、平良港国際クルーズ拠点整備事業、石垣港新港地区旅客船ターミナル整備事業が行われる予定で、昨年沖縄県内での寄港数528隻であり、今年度は697回が予定されている状況で、乗船客への陸路の対策も同時に強力に進めなければならぬ事が課題になる。今後スピーディーな対策が急務になる事を実感した。			
備考				

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年月日	令和元年年5月10日(金)			
場所	ベトナム国大使館			
相手方	ラム・ティー・タイ・フオン公使参事官			
目的	会派ベトナム国視察研修への表敬・訪問			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月10日(金)	9:00	ベトナム国大使館	大使館関係者への表敬と意見交換
		9:35	ベトナム大使館より羽田空港へ移動	タクシー、電車、羽田空港へ移動
		11:30	羽田空港よりANA471便那覇空港へ移動	14:30那覇空港到着
内容	沖縄県のアジア経済戦略構想の戦略的な地域として発展が目覚ましいベトナム国へ、会派の研修視察として5月26日から30日まで訪問する事になることから、ベトナム国大使館への表敬訪問を行う。			
成果及び所見	事前に日程調整を行っていたが、当日になり急遽調整の折り合いがつかず、予定していたラム・ティー・タイ・フオン公使参事官との面談が出来ず、帰路の飛行機の時間が迫っていた為、担当事務職員への面談・事情説明のみになってしまった。			
備考				

東京視察

参加議員 平良昭一、赤嶺昇、玉城満

【期間】2019年5月8日(水)～10日(金)

【往路】ANA996便 12:55 那覇発 ⇒ 15:20 羽田着

【復路】ANA471便 11:30 羽田発 ⇒ 14:20 那覇着

【宿泊先】

ホテルルポール麹町

5/8(水)～2泊 シングル×3室 朝食付き

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-3 03-3265-5361

【日程】

5/8(水)

12:55 ANA996便 那覇発

15:20 羽田着

15:50 電車にてホテルへ

17:00 ホテルチェックイン

5/9(木)

9:30 ホテル出発

10:00 外務省よりレク (衆議院第一議員会館第8会議室)

①ベトナムとの外交状況について ②カンボジアとの外交状況について

14:30 国交省よりレク (衆議院第一議員会館第6面談室)

①沖縄県重要港湾の今後の方向性と整備計画

②クルーズ船招致についての今後の方向性

5/10(金)

8:20 ホテル出発 (チェックアウト)

9:10 ベトナム大使館着

9:30 ラム・ディー・タイ・フオン公使参事官表敬・訪問

9:45 タクシーにて渋谷駅へ

10:16 渋谷駅発 (品川駅乗り換え)

10:43 品川駅発

11:00 羽田空港国内線ターミナル駅着

11:30 ANA471便 羽田発

14:20 那覇空港着

おきかわ 様 領 収 証

2019年05月25日 (土)

¥14,990-

上記の金額は (消費税等 1110円を含む)
正金 13,880円 (取戻店: 宜野湾市Aバンク)
現金 100円 (885) - 2230
各店の上の金額
計帳簿や保管簿を併記し、印刷面を内側に折って保管願います。

5/26 - 5/30 ベトナム視察 お土産代

充当割合 $\frac{10}{10}$

- ・日本政府観光局ハノイ事務所
- ・ジェットロハノイ事務所
- ・在ベトナム日本大使館
- ・ドンアイン沖縄文化経済交流センター
- ・アリアナコンベンションセンター
- ・FPTソフトウェア
- ・ベトナム琉球文化

(計7箇所分)

¥14,990

領 収 書

おきなわ 様

2019年5月26日

金 1,320

但し、タクシー乗車賃代として上記正に
領収いたしました。

〒900-0037 那覇市辻1丁目16番

西武タクシー株式会社

TEL 868-7508

144 号車

5/26

県議会 → 那覇空港
移動費
充当割合 1/10
資料等荷物が多いため
タクシー利用

領 収 証

おきなわ 様

¥ 1,110 円也

但し タクシー使用料金として

上記金額確に領収致しました。

令和元年 5月 30日

運転者名

5/30

那覇空港 → 県議会
移動費
充当割合 1/10
資料等荷物が多いため
タクシー利用

浦添市勢理客4丁目21番16号

株式会社 はとタクシー

電話 (098)-877-0810

協同無線 (098) 869-6000

53 号車

昼 勤

夜 勤

¥ 2,430

お問合せNo. : 0001608289

ReceiptNo. : 1005 - 0035721

RECEIPT
領収書

発行日 : 2019年06月17日

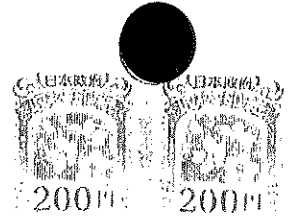
おきなわ 御中

金種 : カウンター

¥ 1,284,000-

THE ABOVE MENTIONED AMOUNT HAS BEEN DULY RECEIVED
上記の金額正に領収致しました。

海外視察ベトナム6名様旅費として



株式会社ジャンボツアーズ 本社/営業
〒900-0015 沖縄県 那覇市 久茂地2丁目1-5
久茂地BKビル

発行担当者

【領収印無きもの及び金額訂正したものは無効です】

5/26 ~ 30 ベトナム視察旅費(航空券・ホテル・朝食)

充当割合 $\frac{10}{10}$

全日程 調査研究に係る内容の為

参加議員

- ・平良 昭一
- ・赤嶺 昇
- ・新垣 清涼
- ・玉城 満
- ・親川 敬
- ・上原 正次

¥ 1,284,000-

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年 5月26日(日)～5月30日(木)			
場所	ベトナム国 ハノイ市、ダナン市			
相手方	5月26日 那覇市からハノイ市へ移動			
目的	本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月26日(日)	9:50:00	那覇～台北経由ベトナム国 ハノイ市	移動
	5月27日(月)	9:30:00	日本政府観光局ハノイ事務所 ジェットロハノイ事務所 在ベトナム日本大使館 ドンアイン沖縄文化経済交流センター	ベトナムの経済状況 日本向け観光施策
	5月28日(火)	15:00:00	アリアナコンベンションセンター	施設内容と運営
	5月29日(水)	13:30:00	FPTソフトウェア	ソフトウェア開発の人材育成
	"	15:30:00	ベトナム琉球文化工芸村	ガラス工場の運営状況
	5月30日(木)	9時	ハノイ市～那覇	移動
内容	<p>【5月26日の内容報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 那覇空港からベトナム国ハノイ市へ移動 ・チャイナエアライン121便にて台北へ ・台北経由チャイナエアライン739便にてハノイ市へ 			
成果及び所見	<p>【成果及び所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇空港から台北まで飛行時間1時間40分、台北からハノイまで3時間10分で飛行機搭乗時間は4時間50分であった。しかし台北での待ち時間が2時間程度であったため那覇空港からハノイ市まで所要時間は約6時間を要した移動であった。 ・18年末の県内の在留外国人の総数は1万8025人で、前年同期比13.7%増。最も伸び率が高いのはベトナム籍で18年末は61.2%増の2047人で、「技能実習」が増えているようだ。また、ベトナム人の日本への観光も見られるようになってきているようだ。よって、沖縄・ベトナム間の直行便について検討が進められてもよい時期期に来ている。 			
備考	会派おきなわ視察参加者:平良昭一、赤嶺昇、新垣清涼、玉城満、上原正次、親川敬			

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年5月27日(月)			
場所	ベトナム国ハノイ市、ダナン市			
相手方	日本政府観光局、ジェトロハノイ事務所、ドンアイン沖縄文化経済交流センター			
目的	沖縄との経済交流・観光関連事業との連携の可能性調査			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月27日(月)	9:30	日本政府観光局	ベトナムの観光情勢について
		11:00	ジェトロハノイ事務所	ベトナムの経済情報について
		13:30	ドンアイン沖縄文化経済交流センター	ベトナムと沖縄県の交流について
内容	日本政府観光局ハノイ事務所においてベトナム市場の情報調査を行う。ジェトロハノイ事務所では、ベトナムの経済状況とジェトロの活動について調査。ドンアイン沖縄文化経済交流センターでは沖縄県とのこれまでの関わりと今後の対応策について意見交換会。			
成果及び所見	<p>日本政府観光局ハノイ事務所では、高橋所長、山本次長からこれまでのベトナム観光の状況の説明を受けた。2年前に開設した事務所は職員7名体制で、急速な発展を続けるベトナムの訪日観光は増え続けている状況。以前は所得の高い方々だけだったが、旅費が安くなった影響で全体的に行ける様になった。日本の地方自治体との交流が進んでいて、2018年度は日本から120万人がベトナム観光に訪れており、比較的治安がいいので2020年は150万人の目標を立てている。沖縄との関係は、コンベンションビューローの取り組みが功を奏し、チャーター便2機を飛ばしたのは初めてで、今年は本格的な誘致の幕開けになるとの説明。ジェトロハノイ事務所では、北川所長から経済状況、貿易、投資、人件費、製造業等の説明を受ける。急速に成長している状況でダイナミックに変わっており共産党一党体制ではあるが市場主義で日本と同じ。GDPは日本の1970年とほぼ同水準。2018年の貿易収支は過去最高の黒字で、従来は軽工業品・一次産品をメインとした構成であったが近年は電気電子を中心とする工業製品の輸出が台頭。日本には服、着物、道着、グローブ、エビを輸出、機械部品、鉄製品を輸入している。日本の商工会議所が3つあり、1797の企業があり国の安全性・安定性からまだまだ伸びる国である。課題は法制度、行政手続き、税制があるとの事。ドンアイン沖縄文化経済交流センターは沖縄、および日本の文化、経済交流を通して相互理解、友好、地域の発展を目指し、日本語教育、奨学金事業、交流・旅行事業、技術移転事業の活動を行っている。今後は沖縄県との直接的な支援体制が必要である。</p>			
備考	急速に発展するベトナム国との経済、観光、人的交流は絶対的に必要である事を認識出来たし、提言していきたい。			

視察調査報告書

2.

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年5月28日(火)			
場所	ベトナム社会主義共和国、ハノイ市			
相手方				
目的	中越米のMICE・リゾート地への利活用と国際会議誘致策について			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
内容	<p>ホーチミン市、友人への対話イベント。学生の英語学習能力への対応はどの程度か。APEC開催のためのハノイ市5つ星ホテルの計画とAPEC開催後さらなる国際会議の誘致が決り、ホテル業者の連携の確認。おこなった施設整備と資本投資の進捗。</p> <p>中越米のMICE施設の建設の再構築の求められ中已参考に</p>			
成果及び所見	<p>48カ所が多く施設規模は、香港、シンガポール、マニラの大型化の中で中越米は、国際会議をターゲットにしたMICE施設のあり方があっていいのかもしれない。また、リゾート地へのアクセスは中越米は、驚異的な進捗がある。ハワイを見据えての観光を果す。今回のベトナム視察で感じる!</p>			
備考				

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年 5月26日(日)～5月30日(木)			
場所	ベトナム国 ハノイ市、ダナン市			
相手方	5月29日 FPTソフトウェアカンパニー、ベトナム琉球文化工芸村			
目的	本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月26日(日)	9時50分	那覇～ハノイ市	移動
	5月27日(月)	9時30分	日本政府観光局ハノイ事務所 ジェトロハノイ事務所 在ベトナム日本大使館 ドンアイン沖縄文化経済交流センター	ベトナムの経済状況 日本向け観光施策
	5月28日(火)	15時00分	アリアナコンベンションセンター	施設内容と運営
	5月29日(水)	13時30分	FPTソフトウェア	ソフトウェア開発の人材育成
	"	15時30分	ベトナム琉球文化工芸村	ガラス工場の運営状況
	5月30日(木)	9時	ハノイ市～那覇	移動
内容	<p>【5月29日の内容報告】</p> <p>1 FPTソフトウェア</p> <p>●概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立1999年FPTコーポレーションの子会社として設立、従業員数15,000名 ・外国語能力日本語4,900名、英語全員他にドイツ・フランス・ロシア・中国語 <p>●現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2005年FPTジャパンホールディングスを設立東南アジアへの事業拡大を目指す ・沖縄にも開発拠点を設置 ・市場売り上げ日本が55%で半数超え、他にアメリカ20%、APAC、ヨーロッパ <p>●調査内容</p> <p>別紙</p> <p>2 ベトナム琉球文化工芸村</p> <p>●概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立1995年 従業員数180名(当初) ・日本人職員による20年以上の指導実績 ・ベトナム国でオンリーワンの100%ハンドメイドの製造技術企業 ・ガラス職人100名を有する職人集団 ・徹底した品質のこだわり <p>●現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年以上かけて積み重ねたベトナム社員との信頼関係構築できている ・ベトナムで製造したものは全て沖縄に輸出(税制上ベトナムでの販売不利) ・ベトナム人による独自のガラス工芸の創出→新たな観光資源(ベトナムでの販路) <p>●調査内容</p> <p>別紙</p>			
成果及び所見	【成果及び所見】 別紙			
備考	会派おきなわ視察参加者:平良昭一、赤嶺昇、新垣清涼、玉城満、上原正次、親川敬			

視察調査報告書

<p>成果及び所見</p>	<p>1 FPTソフトウェア</p> <p>【調査内容】</p> <p>・<u>人材確保の方策と今後の展望</u> 日本市場に向けての安定的な人材供給ができるよう人材教育に力を入れている。人材確保については親会社であるFPTコーポレーションが小学校から大学の一貫校と専門学校を運営しており日本語のできる人材育成に努めている。その内容は社内での教育プログラム、FPT大学での日本語教育、日本への留学と3つの教育プログラムで人材育成を図っている。</p> <p>・<u>質疑応答</u> ○大学での学生の奨学金制度は→会社から2年間勤めてもらうことを条件に、優秀な学生に奨学金を出している。 ○大学のカリキュラムはソフト開発のみか→ソフト開発が中心であるが、金融会計系の学部もある。 ○社員の国別内訳は→日本に1,600人の社員がいる、うち10%は日本人が占めている</p> <p>【成果及び所見】 ベトナム経済はここ数年7%台で成長を続けている国である。その要因の一つがベトナムの安価な人件費で多くの外資系企業を誘致してきたことが挙げられる。 2017年9月にはFPTコーポレーションの会長が翁長知事を訪問し、ソフトウェア開発を開発受注する拠点を沖縄に設立したと報告した。その席上会長は、2020年までに500人規模の採用計画と、高度なIT人材を育成する教育機関として4年生「FPT大学」を設立する構想も明らかにした。 沖縄県に進出した理由に、手続きやコスト面で課題のあった研究開発業務の受注が可能になることを挙げている。 沖縄進出は大歓迎するところであるが、沖縄の県民所得は全国70%台だ、国内でも人件費の割安なことが進出理由の一因ではないのだろうか。しかし、そのことを現実として受け止め、また特区制度の創設や地政学的有利さを企業誘致の戦略とすべきだ。</p> <p>2 ベトナム琉球文化工芸村</p> <p>【調査内容】</p> <p>・<u>ベトナム進出の経緯と今後の展望</u> ベトナム琉球文化工芸村は琉球ガラス村グループの最大生産拠点 ベトナム人によるベトナムのガラス工芸としてどうやって発信していくか、そのためにこれまでにない工場見学、ガラスづくり体験、ショッピング、レストラン等環境を十分に配慮した複合型観光施設を整備していく予定</p> <p>・<u>質疑応答</u> ○2020年には移転しなければならないとのことですがその最大の理由は→ベトナムから見れば工芸村は外国資本なので土地を購入できない。長期の賃貸借契約を結んでいたが2015年で契約が切れ、都市開発のため移転を求められている。近年日本企業だけが入れる工業団地の整備が進められておりそこへの移転が決まっている。 ○ベトナム進出の理由は→沖縄のガラス村の製品が観光客の増加によって沖縄だけの生産では需要にこたえきれなくなっていた、また、沖縄県民に安価で琉球ガラス製品を使ってもらうということにも将来支障をきたすことが予想されていた。タイ国・中国も検討したがベトナム人の価値観等を高く評価した結果ベトナムに決めた。</p> <p>【成果及び所見】 ベトナム人社員との信頼関係を築きながら技術指導に積極的に努力しているようだ。琉球ガラスは、今や国内外から評価されるとともに、県民の活用も食器から美術品まで多様化している。琉球ガラス村の支援によるベトナム人によるベトナムのガラス工芸の発展と、観光ビジネスのノウハウを生かしたベトナム国への貢献に期待したい。</p>
---------------	--

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年5月30日（木）			
場所	ベトナム国 ハノイ市、ダナン市			
相手方				
目的	ベトナム国の経済概況等について視察研修			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月30日（木）	9:30	ハノイ空港より台北桃園空港	チャイナエアライン792便
		17:20	台北桃園空港より那覇空港	チャイナエアライン122便
内容	26日から30日までのベトナム視察研修からの帰国の移動日			
成果及び所見				
備考				



会派おきなわ県内企業団御一行様 海外視察「ノイ・ダナン・ホイアン」5日間

日付	スケジュール	朝	昼	夕
1日目	(09:50)那覇空港3階 連絡ターミナル旅行代理店カウンター前付近集合 (11:50)那覇発「チャイナエアライン」121便にて台北経由「ベトナム首都ハノイ」へ (12:30)台北到着 (14:40)台北発「チャイナエアライン」193便にて「ハノイ」へ (16:50)「ハノイ」到着 (17:20)専用バスにて「ハノイ」市内へ ホテル「チェックイン」 チェックイン後、専用バスにて市内「レストラン」へ バンパシフィックホテル内「MING」にて中華料理の夕食		機内食	ベトナム風(中華料理)
2日目	ホテルにて朝食後、 ハノイ市内視察 (09:30~10:30)表敬訪問) 日本政府観光局JNTO ハノイ事務所訪問 /対応者: 事務所長 高橋氏 日本政府観光局としては16番目の海外事務所平成29年3月28日に開所式開催されました。 表敬後、専用バスにてJetroハノイ事務所へ (11:00~12:00)訪問) Jetro ジェトロハノイ事務所 /対応者: ミーティング終了後、専用バスにて昼食会場へ移動 市内「レストラン」GOLDEN DRAGONにて飲茶の昼食 昼食後、専用バスにて出発。 (13:30~15:00)表敬訪問) 在ベトナム日本国大使館 /対応者: 次席行使 麻生氏 表敬終了後、専用バスにて「ハノイ」空港へ (16:00)「ハノイ」ノイバイ国際空港へ (18:00)「ハノイ」発「ベトナム航空」185便にて「ダナン」へ (19:20)「ダナン」国際空港 到着~市内「レストラン」へ 市内「レストラン」BLUE WHALEにて海鮮料理の夕食		×	ベトナム風(中華料理)
3日目	ホテルにて朝食後、専用バスにて出発(約29km/45分) 古郡ホイアン視察へ 世界遺産古郡ホイアン視察 日本橋・海のシルクロード博物館・福建会館・フンフンの家 (15:00~)視察) アリアナコンベンションセンター /対応者: Ms Phuong (Ariyana Convention Manager) アリアナコンベンションセンター /対応者: Ms Phuong (Ariyana Convention Manager) 質疑応答、「2017年にダナンでAPEC (アジア太平洋経済協力) が開催され、日本・アメリカ・中国など21か国の代表者約16,000人がダナンを訪れました。国際社会におけるベトナムの地位や役割を高める世界を動かす国家となる近い将来を身感え、ダナンでは施設やセキュリティシステム、医療の分野にわたって準備を結集的に観光地としてのダナンにとっても露骨の構築となりました」 市内「レストラン」WATER FRONTにてベトナム料理の夕食			ベトナム料理

4日目	ホテルにて朝食 (09:00)「ダナン」発「ベトナム航空」162便にて「ハノイ」へ (10:20)「ハノイ」到着 (11:00)専用バスにて出発 ~「ハノイ」市内へ ~市内「レストラン」にて昼食 (13:30~15:00)視察) ベトナム最大手のIT企業「 FPT Software Company」 /対応者: ベトナムにおいて最大手かつ、最も急速に発展しているソフトウェアアウトソーシング/オフショア開発を得意とする企業です。 (15:30~16:30)視察) ベトナム「現地法人責任者 稲積氏」 1995年4月にベトナム計画投資券(MIP)より投資認可を受け日本国沖縄県在のシャトーヒルズ株式会社100%出資により、ハノイ市「クワン・ロン」地区にあるケミカル会社(商業省管轄)敷地内にて、ハンドメイドでは、世界有数規模のガラス工場を設立しました。 視察終了後~市内「レストラン」LY CLUBにてフランス料理の夕食 夕食後、ホテルへ	レストラン	ホテル	機内食
5/29(水)				
5日目	(07:00)ホテルにて朝食 (08:30)専用バスにて「ハノイ」ノイバイ国際空港へ (09:30)「ハノイ」空港到着 搭乗手続き及び出国 (11:35)「ハノイ」発「チャイナエアライン」192便にて「那覇」の途へ。 (15:20)台北桃園国際空港到着 (17:20)台北発「チャイナエアライン」122便にて那覇空港へ (19:55)那覇空港国際線到着 ~お疲れさまでした!~			ホテル
5/30(木)				

◆上記スケジュールは、航空機・バス等の交通機関の都合、天候、現地事情(ストライキ等)により訪問順序、及び見学箇所がやむを得ず変更になる場合がございます。

MEMO

4日目	ホテルにて朝食 (09:00)「ダナン」発「ベトナム航空」162便にて「ハノイ」へ (10:20)「ハノイ」到着 (11:00)専用バスにて出発 ~「ハノイ」市内へ ~市内「レストラン」にて昼食 (13:30~15:00)視察) ベトナム最大手のIT企業「 FPT Software Company」 /対応者: ベトナムにおいて最大手かつ、最も急速に発展しているソフトウェアアウトソーシング/オフショア開発を得意とする企業です。 (15:30~16:30)視察) ベトナム「現地法人責任者 稲積氏」 1995年4月にベトナム計画投資券(MIP)より投資認可を受け日本国沖縄県在のシャトーヒルズ株式会社100%出資により、ハノイ市「クワン・ロン」地区にあるケミカル会社(商業省管轄)敷地内にて、ハンドメイドでは、世界有数規模のガラス工場を設立しました。 視察終了後~市内「レストラン」LY CLUBにてフランス料理の夕食 夕食後、ホテルへ	レストラン	ホテル	機内食
5/29(水)				
5日目	(07:00)ホテルにて朝食 (08:30)専用バスにて「ハノイ」ノイバイ国際空港へ (09:30)「ハノイ」空港到着 搭乗手続き及び出国 (11:35)「ハノイ」発「チャイナエアライン」192便にて「那覇」の途へ。 (15:20)台北桃園国際空港到着 (17:20)台北発「チャイナエアライン」122便にて那覇空港へ (19:55)那覇空港国際線到着 ~お疲れさまでした!~			ホテル
5/30(木)				

◆上記スケジュールは、航空機・バス等の交通機関の都合、天候、現地事情(ストライキ等)により訪問順序、及び見学箇所がやむを得ず変更になる場合がございます。

MEMO

3日目	ホテルにて朝食後、専用バスにて出発(約29km/45分) 古郡ホイアン視察へ 世界遺産古郡ホイアン視察 日本橋・海のシルクロード博物館・福建会館・フンフンの家 (15:00~)視察) アリアナコンベンションセンター /対応者: Ms Phuong (Ariyana Convention Manager) アリアナコンベンションセンター /対応者: Ms Phuong (Ariyana Convention Manager) 質疑応答、「2017年にダナンでAPEC (アジア太平洋経済協力) が開催され、日本・アメリカ・中国など21か国の代表者約16,000人がダナンを訪れました。国際社会におけるベトナムの地位や役割を高める世界を動かす国家となる近い将来を身感え、ダナンでは施設やセキュリティシステム、医療の分野にわたって準備を結集的に観光地としてのダナンにとっても露骨の構築となりました」 市内「レストラン」WATER FRONTにてベトナム料理の夕食			ベトナム料理
5/28(火)				

お問合せNo. : 0001636761

ReceiptNo. : 1005 - 0037375

RECEIPT
領収書

発行日 : 2019年10月21日

沖縄県議会 会派おきなわ 御中

金種 : カウンター

¥ 748,000-

THE ABOVE MENTIONED AMOUNT HAS BEEN DULY RECEIVED
上記の金額正に領収致しました。

2019年9月10日-9月14日 5日間
ベトナム&カンボジア視察(4名様)旅費として



株式会社ジャンボツアーズ 本社/営業
〒900-0015 沖縄県 那覇市 久茂地2丁目15-110
久茂地BKビル

発行担当者

【領収印無きもの及び金額訂正したものは無効です】

9/10 ~ 14 ベトナム・カンボジア視察 4名分
参加者 ①赤嶺昇 ②平良昭一 ③玉城満 ④親川敬
旅費 (航空券・宿泊代・朝食代)
全日程調査研究に係る内容の為
充当割合 10/10

¥ 748,000

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年年9月10日(火)			
場 所	ベトナム国			
相手方				
目 的	会派ベトナム国・カンボジア国視察研修			
日程概要	月日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	9月10日(火)	9:50	那覇国際空港より台北桃園空港	チャイナエアライン121便
		14:10	台北桃園空港よりホーチミン空港	チャイナエアライン783便
		17:45	ホーチミン空港よりバス移動でホテルへ	19:00ウィンザープラザホテル到着
内容	11日から14日までのベトナム国・カンボジア国視察研修のための移動			
成果及び所見				
備 考				

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年年9月11日(水)			
場所	ベトナム国ホーチミン市			
相手方	在ホーチミン日本国川上淳一総領事・田中裕之副領事、ジェトロホーチミン事務所比良井慎司所長・ ■■■■ アドバイザー			
目的	ベトナム国の国政状況と経済状況の説明			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	9月11日(水)	9:00	ホーチミン日本国総領事館	ベトナム国の国政状況と日本との関係
		16:30	ジェトロホーチミン事務所	ベトナムの最新ビジネス環境と今後の展望
内容	ホーチミン日本国総領事館ではベトナム南部・ホーチミン市の概要、経済情勢、ODA案件の説明、日本とベトナムの地方自治体間の交流の説明。ジェトロホーチミン事務所では、ベトナムの最新ビジネス環境と今後の展望の説明を受けた。			
成果及び所見	<p>在ホーチミン日本国総領事館は、1993年に開設。東南アジアの中心にある事から地理的有利性を生かした取り組みを行っている。メコンデルタ地域は農産物生産が盛んで特に米は輸出が盛ん。コーヒー生産も盛んでブラジルに次ぐ世界第2位の生産を誇り、水産物のナマズ養殖業も盛ん。日系の会社は1021社で世界第3位(商工会議所会員数)。人口は1000万人、GDP6000ドル、バイクの数が850万台と異常に多い。南部経済回廊の東の出口として重要な位置を占める。ODA関係では、東西ハイウェイ、水環境改善事業、都市鉄道等の事業が進められており、日本が最大の援助国である。日本の地方自治体との交流は、多数の県知事が訪問しており、大阪府、横浜市、兵庫県、滋賀県、愛知県、長野県、近畿経産局と覚書・協定を結んでいる。沖縄県からは、沖縄県経済同友会や文化観光スポーツ部から高校生の研修があった。まだまだ発展する都市地域であり、友好提携の為に今後は是非沖縄県知事の訪問が必要であろう。</p> <p>ジェトロホーチミン事務所では、日系企業の状況の説明を受けた。日系の企業からは人気がある。その理由として、労働力の魅力、将来性のある地域であり政治的に安定していることがあげられる。日本企業は加工製造業が一番多く、今後も続けて行きたい企業が多い。外資投資への依存経済の国であり、韓国が一番投資している。今後の問題点として、最低賃金が上昇している事、原材料・部品の調達に苦慮、法律・行政手続きの遅さ、公務員の腐敗などがあげられる。またベトナムの生活レベルは、貧困層が多く農家が45%で、賃金は日本の5分の1から7分の1である。</p>			
備考	活発で政治的安定度からしてまだまだ伸びる地域であり沖縄との経済交流は重要である。			

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年 9月10日(火)～9月14日(土)			
場所	ベトナム国 ホーチミン市、カンボジア国 プノンペン市			
相手方	9月12日(木) 在カンボジア日本国大使館、ジェットロプノンペン事務所			
目的	本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	9月10日(火)	11時50分	那覇～台北經由ベトナム国ホーチミン市	移動
	9月11日(水)	9時00分	在日本国領事館表敬訪問 クチ地下トンネル視察 ジェットロホーチミン事務所訪問	ホーチミン市の政治経済状況 戦争遺跡の状況 ホーチミン市における日本企業
	9月12日(木)	6時00分	在カンボジア日本国大使館訪問 ジェットロプノンペン事務所	カンボジアの政治経済状況 プノンペンにおける日本企業
	9月13日(金)	8時30分	トゥルステン虐殺博物館 イオンモール号店	平和学習 ASEAN最大のイオンモールの展開
	9月14日(土)	10時50分	プノンペン発台北經由～那覇	移動
内容	<p>【9月12日(木)の内容報告】</p> <p>1 在カンボジア日本大使館訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対応者:三上大使、坂本書記官 ●カンボジア王国概況 ・人口は1630万人(2018年国連推定)日本の訳12.8%、面積は18.1万km²日本の約半分、クメール人が90% ・1975～79年全土を実効支配したポルポト首班時代に餓死と処刑により、100万とも200万(当時の人口は500万人)ともいわれる国民が死亡した。このことは日本でもよく知られている。 ・国王を元首とする立憲君主制。二院制で上院・下院ともほぼ人民党 ・1人当たり名目GDPは1,509ドル(2018年IMF推計)日本の約4%だが、過去10年間の平均経済成長率は7%を超えている。 ・外国の投資額では中国がトップで、2位は韓国、日本は6位となっている。 ●日・カンボジア関係 別紙 <p>2 ジェットロプノンペン事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対応者: アドバイザー ●日系企業動向 ・カンボジア日本人商工会は261社3団体で組織され活動している。主な活動内容は大使館、NGO、JICA、JBACの各機関が集い教育・農業・人権等についてオールジャパンとして情報交換を行っている。 ・日本カンボジア官民合同会議が設置され進出日系企業が直面する貿易・投資環境に関する問題点・課題を日本の官民が連携して、カンボジア側と協議し問題解決にあたっている。 ●日系企業にとっての課題 別紙 			
成果及び所見	【成果及び所見】 別紙			
備考	会派おきなわ視察参加者:赤嶺昇、平良昭一、玉城満、親川敬			

視察調査報告書

	<p>【調査内容】</p> <p>● 日・カンボジア関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代初期には日本人町が形成。2007年にはフン・セン首相が公賓として訪日、以降6回の訪日を経ている。 ・ODAを通じてインフラ、母子健康、教育等国づくりを支援しており、高い評価を受け与野党、官民の立場を超えて日本に対する信頼感、親近感に圧倒的なものがある。カンボジア通貨500リエルに紙幣に印刷されている「日の丸」はこれを如実に示している。 ・2016年には全日本空輸煮るプノンペンー成田間の直行便が就航し、特にカンボジア人の観光客が増加。 ・援助形態は無償資金協力が占める割合は約50%と高く、技術協力が約20%、円借款28%となっている。 ・1994年より日本政府アンコール遺跡救済チームを通じ保存修復支援を行っている。 ・在カンボジア在留邦人は約3,500人。2018年は約21万人の日本人が来訪。在カンボジア日本人大使館は約20,000件の査証を発給。2018年6月の在日カンボジア人は11,916人。1992年以降日本が受け入れたカンボジア人国費留学生は1,100名以上。 <p>・質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国資本の投資に対する規制はどうか→投資に対する規制は少ない ○留学生の希望国は→中国が多く約9,000人 <p>【成果及び所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1997年代まで武力衝突の続いていた国あるにもかかわらず、2010年以降GDP成長率平均7%の高度成長を続けている。 ・企業進出について資本規制や送金規制がほとんどないため進出しやすい環境にある。
<p>成果及び所見</p>	<p>【調査内容】</p> <p>● 日系企業にとっての課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金の上昇が生産性に見合わず。ベトナムの平均額を超えている。 ・割高な電気料金→ベトナムの2倍。国境地区は未だ供給不安定。カンボジア国内の発電量は86.1%、残りは周辺国から輸入している。2013年以降水力発電の大幅な増加により輸入割合は大幅に減少している。 ・割高な輸出入コスト→他国にはない制度によるコスト増。 ・熟練労働不足→内戦の影響もあり教育水準の高い労働力が不足(識字率78.4%、教育施設・教師の不足)。カンボジアの義務教育システムは日本と同じ小学校と中学校。農村部を中心に家庭事情により未就学児童や退学する生徒も多く、小学校卒業生は入学時の半数以下。また、生徒数に対し学校が足りていないため、午前・午後の2部制。 ・行政の不透明性→法制度は急ピッチで整備が進んだが、許認可基準が不透明で運用手続きも行政の末端まで浸透していない。 ・インフラ整備→主要幹線道路は完成しているが、地方道路がまだ貧弱。 <p>・質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平均月収は→最低賃金は月収182\$ ○売れ行きの高い商品は→子供関連商品は関心が高い ○購買層は→中国系富裕層消費力が高い ○今後期待される分野は→体育、音楽、美術の分野がない <p>【成果及び所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国による最恵国待遇付与による縫製業への外資進出の結果縫製業の輸出が顕著で主要輸出産業となっている。 ・経済成長により中間所得層が増加し、個人消費が活性化、ファーストクラス店やブランド店が市内に進出。イオンモールもその一例である。 ・中古車輸入の特権があってアメリカ中古車の輸入が主である。

視察調査報告書

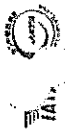
経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年 9月10日(火)～9月14日(土)			
場所	ベトナム国 ホーチミン市、カンボジア国 プノンペン市			
相手方	9月12日(木) 在カンボジア日本国大使館、ジェットロプノンペン事務所			
目的	本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	9月10日(火)	11時50分	那覇～台北経由ベトナム国ホーチミン市	移動
	9月11日(水)	9時00分	在日本国領事館表敬訪問 クチ地下トンネル視察 ジェットロホーチミン事務所訪問	ホーチミン市の政治経済状況 戦争遺跡の状況 ホーチミン市における日本企業
	9月12日(木)	6時00分	在カンボジア日本国大使館訪問 ジェットロプノンペン事務所	カンボジアの政治経済状況 プノンペンにおける日本企業
	9月13日(金)	8時30分	トゥルスレン虐殺博物館 イオンモール2号店	平和学習 ASEAN最大のイオンモールの展開
	9月14日(土)	10時50分	プノンペン発台北経由～那覇	移動
内容	<p>【9月13日(金)の内容報告】</p> <p>1 トゥルスレン虐殺博物館</p> <p>●概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プノンペン市内にある元高校の施設である。 ・ポルポト政権時代に政治犯の収容所として使われ2万人を超える人々が激しい拷問を受けた場所。 ・この場所には1,200人から20,000人の人々が収容されていたと言われており、確認された生存者は、わずか12名。犠牲となったのは、農民や技術者、僧侶、外国人、学生、弁護士など皆、罪のない人たちだったとされている。 ・この施設はもともと高校の施設であったが、ポルポト派の行った残虐行為を後世に伝えるため、トゥルスレン虐殺博物館として保存され、ユネスコ記憶遺産に登録されている。 <p>2 ASEAN最大のイオンモール2号店</p> <p>●対応者：████ゼネラルマネージャー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・████マネージャーからイオンモールのコンセプト等の説明を受け施設内を案内してもらった。 <p>●イオンモールコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済発展の著しいカンボジアしかも、平均年齢が24歳と若い国民は働く喜びとともに休日や余暇過ごし方も発展段階にあると分析している。 ・楽しい体験や空間を提供し、もっと驚きを増やしてまいります。 ・今までなかったサービスを提供し、もっと喜びを提供してまいります。 ・緑豊かな木々に囲まれた環境とともに、もっと感動を提案してまいります。 			
成果及び所見	【成果及び所見】 ・別紙			
備考	会派おきなわ視察参加者：赤嶺昇、平良昭一、玉城満、親川敬			

視察調査報告書

成果及び所見	<p>1 トウルスレン虐殺博物館</p> <p>【調査内容】</p> <p>●連行され虐殺された対象者</p> <p>・主にその対象となったのは、きちんと教育を受けた人、教師、医師、法律家、外国語が話せた人、柔らかな手をした人、僧侶、メガネをかけた人など、都市に住む全ての人々だった。実際には普通の市民で、ほとんどの人が何も罪を犯していなかった。殺された人たちの、その家族さえも殺されなければならなかった。ポルポト政権は「雑草を取り除く時には、根っこから取り除け」という革命のスローガンに則り、収容者を連行する際は、血縁単位の逮捕をしていた。殺された人の家族や親戚が、復讐を企てることを恐れたことなどが理由だったようだ。</p> <p>【成果及び所見】</p> <p>・帰国後トウルスレン虐殺博物館の職員人材育成に沖縄県平和祈念資料館と沖縄県立博物館・美術館がかかわっていたことがわかった。当時の沖縄側の担当者は「戦争という魔物に対抗するためには博物館はメッセージを伝える必要があります。身近な人を失うなど、心に傷を負ったカンボジアの人々とウチナーンチュは共感するところが多いと思います。」とのべている。</p> <p>沖縄平和祈念資料館においては入場者数が減少傾向にあるという。18年度の観覧者数は、前年度比2.2%減の34.8万人でこれまでの最多は2000年度48.1万人であった。2009年度から10年間は30万人台で推移し、減少傾向が続く。特に懸念されるのが2012年度以降外国人の観覧者は増加傾向にあるが、県内観覧者の減少である、県内有料観覧者は2000年度総ピーク時の11.1万人から減少を続け218年度には0.7万人となっている。施設関係者は「平和と学習も含め、県民の関心の薄れを感じる」と危機感を抱いているという。沖縄戦の記録や証言を体感する場として「博物館の基本的役割はモノを通して人々にメッセージを伝える使命をもっている」ことを全県民全国民が再認識すべきだと感じた。。</p>
	<p>2 ASEAN最大のイオンモール2号店</p> <p>【調査内容】</p> <p>●イオンモールの特徴</p> <p>・行政機能が充実→「パスポート発行センター」「IDカード発行センター」「運転免許更新所」等の行政機能を備えている。</p> <p>・日本の最新技術を取り入れた、地球環境負荷低減への取り組み→カンボジアの商業施設で初となるメガワットソーラー発電や、高効率空調システムなどを導入。</p> <p>・カンボジア最大のアミューズメントコンプレックス→「ウォーターパーク」、「アクアリウム」、「室内遊園地」、「シネマ」、「ボーリング」、「コンサートホール」等等。</p> <p>・豊かな緑の環境→環境テーマは「森」</p> <p>・ファイナンシャルゾーン→5つの銀行と14ATM、生命保険相談機能</p> <p>・魅力的なイベントスペース→「多目的イベントホール」「フットサルコート」を備え各種イベント、結婚式、地域交流の場を提供</p> <p>【成果及び所見】</p> <p>・イオンモールは、イオングループが運営する「大型ショッピングセンター」である。</p> <p>・1911年に生糸商として創業後、1970年ジャスコ株式会社を買収されその後も吸収合併を経て2007年名称を「イオンモール」に統一し全国展開している大型ショッピングセンターであり2018年国内海外含め総数122店舗を運営している。</p> <p>・海外では中華人民共和国17店舗、ASEAN6店舗を運営している。</p> <p>・物の消費に限界が見えてきた日本ではコト消費を強化するモールが目立っているが、海外ではまだ珍しい。「カンボジアの成長速度に遅れてはいけない。3号店のモール建設を早急に検討したい」すでに計画中である。ミャンマー進出についても計画中大と説明を受けた。</p>

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年 9月10日(火)～9月14日(土)			
場所	ベトナム国 ホーチミン市、カンボジア国 プノンペン市			
相手方	9月12日(木) 在カンボジア日本国大使館、ジェットロプノンペン事務所			
目的	本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	9月10日(火)	11時50分	那覇～台北經由ベトナム国ホーチミン市	移動
	9月11日(水)	9時00分	在日本国領事館裏秘訪問 クチ地下トンネル視察 ジェットロホーチミン事務所訪問	ホーチミン市の政治経済状況 戦争遺跡の状況 ホーチミン市における日本企業
	9月12日(木)	6時00分	在カンボジア日本国大使館訪問 ジェットロプノンペン事務所	カンボジアの政治経済状況 プノンペンにおける日本企業
	9月13日(金)	8時30分	トゥルスレン虐殺博物館 イオンモール号店	平和学習 ASEAN最大のイオンモールの展開
9月14日(土)	10時50分	プノンペン発台北經由～那覇	移動	
内容	<p>【9月14日(土)の内容報告】</p> <p>●プノンペン国際空港から那覇へ帰国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プノンペン空港からチャイナエアライン862便にて台北桃園国際空港へ ・台北桃園国際空港經由チャイナエアライン122便にて那覇空港へ 			
成果及び所見	<p>【成果及び所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プノンペン国際空港から台北まで飛行時間3時間30分、台北から那覇空港からまで1時間35分で飛行機搭乗時間は約4時間であった。しかし台北での待ち時間が2時間程度であったためプノンペン空港から那覇空港まで所要時間は約7時間を要した移動であった。 			
備考	会派おきなわ視察参加者:平良昭一、赤嶺昇、新垣清涼、玉城満、上原正次、親川敬			



会派おきなり御一行様海外経済視察ベトナム&カンボジア

日付	スケジュール	朝昼夕	食	宿	タ
初日	09:50) 那覇空港3階連絡ターミナル国際線 旅行代理店カウンター前。 (11:50) 那覇発トクサイエアライン121便にて台北経由ベトナム、ホーチミンへ (12:30) 台北到着 沖縄との時差マイナスイラスト時間 (14:10) 台北発トクサイエアライン783便にてエールギッシュ街ホーチミンへ (16:45) ホーチミン到着 沖縄との時差マイナスイラスト時間 (17:15) 専用バスにて市内へ ホテルチェックイン チエックイン後、専用バスにて市内レストランへ 市内レストランにて夕食 【ホーチミン泊】	×	機内食		ベトナム風 (海鮮料理)
2日目	07:00) ホテルにて朝食 専用バスにて出発 (09:00~10:00) 在ホーチミン日本国総領事館 表敬訪問 対応者：河上総領事/田中副領事 連絡先：(+84-28-3933-3510) ※領事館前で下車 徒歩で機内へ 専用バスにて郊外のクナムへ (約47分、移動約1時間30分) 市内レストランにて昼食後、郊外にあるクナムの地下トンネル視察へご案内いたします。 クナムの地下道は、ベトナムのホーチミン市クナムを中心とした、全長 200km の地下トンネルネットワークである。ベトナム戦争中に、南ベトナム解放民族戦線 によってゲリラ戦の根拠地として作られ、ここよりカンボジアとの国境付近までトンネルが張り巡らされていた。 クナムでの視察終了後、ホーチミン市内へ (16:30~17:30) シェトロホーチミン事務所訪問 対応者：比良井様事務所長/フリーフィング近藤秀彦 (投資アドバイザー) 連絡先：(+84-28-3821-9363) 市内レストランにて夕食 【ホーチミン泊】		ホテル		フランス料理
3日目	06:00) 専用バスにてホーチミン空港へ (08:30) ホーチミン発トクサイエアライン819 便にてカンボジア首都プノンペンへ (09:25) プノンペン国際空港 到着 (10:15) 専用バスにてプノンペン市内へ 市内レストランにて昼食 昼食後、日本大使館へ (14:00~15:00) 在カンボジア日本国大使館訪問 対応者：三上大使 連絡先：坂本書記官 (+855-16-835-412) 機内 大使館公邸でお迎え シェトロプノンペン事務所へ移動 (15:30~16:30) シェトロプノンペン事務所 対応者：藤坂アドバイザー 連絡先：(+855-23-966-253) カンジノ施設 etc 視察 市内レストランにて夕食 【プノンペン泊】		ホテル		カンボジア料理

ホテルにて朝食

4日目

9/13 (金)

プノンペン市内視察&平和学習
広い敷地の中央にある即位殿の仏頭を頂いた高さ 59m の尖塔と鮮やかな黄色の屋根が一目目を引く王宮(外観)、王室に隣接するシルバークロダでは大理石造りの壮麗な外観と 5 千枚を超える銀タイルで床を敷き詰めた内館など数々の宝物をご覧いただけます。1953 年のフランスからの独立を記念して建てられた独立記念塔など。市内レストランにて昼食「カンボジア風ビュッフェ」
トゥルレスレン情報博物館 ポル・ポト政権時代に政治犯の収容所として使われ 2 万人を超える人々が激しい拷問を受けた場所です。クメール雲霧の至宝が収められたクメール様式建築が印象的な国立博物館など
(14:00~15:30) ASEAN 最大のイオンモール 2 号店 (Sen Sok City) 視察
対応者：木村家介サテライトマネージャー

メコン川クルーズ プノンペンの街を流れるメコン川、その源流はチベット高原、中国、ミャンマー、ラオス、タイ、カンボジア、そしてベトナムへと流れる東南アジア最大の川となり、その長さは 4200km におよびます。
【プノンペン泊】
07:00) ホテルにて朝食
08:00) 専用バスにてプノンペン国際空港へ
08:50) プノンペン空港到着 搭乗手続き及び出国
10:50) プノンペン発トクサイエアライン 862 便にて帰国の途へ。
15:20) 台北桃園国際空港到着 (飛行時間 3 時間 30 分)
17:20) 台北発トクサイエアライン 122 便にて那覇空港へ
19:55) 那覇空港国際線到着 (飛行時間 1 時間 35 分)

～お疲れさまでした！～

◆上記スケジュールは、航空機・バス等の交通機関の現地事情に伴い多少変わる場合がございます。

※カンボジア査証が必要で、(バスポート有効期限 6 ヶ月以上の残存が必要です。)

※ホテルクラス☆☆☆皇クラ

MEMO

調査研究費

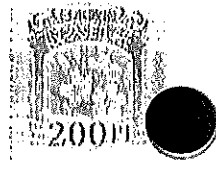
領 収 証 № 002166

瑞慶賢 功 様 2019年10月21日

金額 ¥84,000.-


但し、10月30日～11月2日の宿泊代及び
那覇～台湾間の航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。



沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会の登録会社
(株)東亜旅行社
〒902-0067 沖縄県那覇市宇安里4-1-1
TEL. 098(885)8855
FAX. 098(887)6999

担当者印



台湾視察旅費
(航空券・宿泊代)

充当割合 $\frac{10}{10}$

調査研究に係る
費用の為

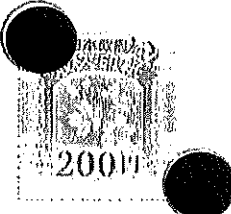
領 収 証 № 002162

平良 昭一 様 2019年10月21日

金額 ¥84,000.-


但し、10月30日～11月2日の宿泊代及び
那覇～台湾間の航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。



沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会の登録会社
(株)東亜旅行社
〒902-0067 沖縄県那覇市宇安里4-1-1
TEL. 098(885)8855
FAX. 098(887)6999

担当者印



¥ 168,000

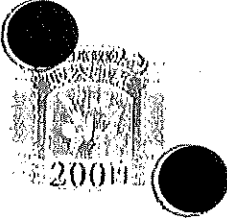
領 収 証 № 002094

赤嶺 昇 様 2019年10月21日


金額 ¥ 84,000.-

但し、10月30日～11月2日の宿泊代及び
那覇～台湾間の航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。



沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会(加盟団体)
(株)東亜旅行社
〒902-0067 沖縄県那覇市宇安里4丁目8番地
TEL. 098(885)8855
FAX. 098(887)6999

担当者印


台湾視察旅費
(航空券・宿泊代)

充当割合 $\frac{10}{10}$

調査研究に係る
費用の為


領 収 証 № 002165

新垣 清涼 様 2019年10月21日


金額 ¥ 84,000.-

但し、10月30日～11月2日の宿泊代及び
那覇～台湾間の航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。



沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会(加盟団体)
(株)東亜旅行社
〒902-0067 沖縄県那覇市宇安里4丁目8番地
TEL. 098(885)8855
FAX. 098(887)6999

担当者印


¥ 168,000

領 収 証 № 002164

玉城 満 様 2019年10月21日

金額 ¥84,000.-

但し、10月30日～11月2日の宿泊代及び
那覇～台湾間の航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。

沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会 正会員


(株)東亜旅行社

〒902-0067 沖縄県那覇市字安里4丁目1番1号

TEL. 098(885)8855

FAX. 098(887)6999

担当者印



台湾視察旅費
(航空券・宿泊代)

充当割合 $\frac{10}{10}$

調査研究に係る
費用の為

領 収 証 № 002160

親川 敬 様 2019年10月21日

金額 ¥84,000.-

但し、10月30日～11月2日の宿泊代及び
那覇～台湾間の航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。

沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会 正会員


(株)東亜旅行社

〒902-0067 沖縄県那覇市字安里4丁目1番1号

TEL. 098(885)8855

FAX. 098(887)6999

担当者印



¥ 168,000

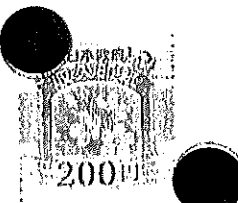
領 収 証 № 002163

上原 正次 様 2019年10月21日


金額 ¥84,000.-

但し、10月30日～11月2日の宿:自代及び
那覇～台湾間航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。



沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会
(株)東亜旅行社
〒902-0067 沖縄県那覇市字安里4-3番地
TEL. 098(885)8855
FAX. 098(887)6999

担当者印


台湾視察旅費
(航空券・宿泊代)

充当割合 $\frac{10}{10}$

調査研究に係る
費用の為

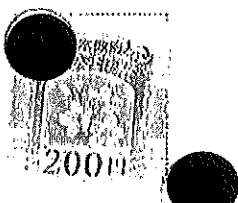
領 収 証 № 002161

新垣 光栄 様 2019年10月21日


金額 ¥84,000.-

但し、10月30日～11月2日の宿泊代及び
那覇～台湾間航空券代として

※上記金額確に、領収致しました。



沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業協会
(株)東亜旅行社
〒902-0067 沖縄県那覇市字安里4-3番地
TEL. 098(885)8855
FAX. 098(887)6999

担当者印


¥ 168,000

視察調査報告書

瑞慶覧 功

経費区分	調査研究費			
年月日	2019年10月30日(水)~11月1日(金)			
場所	台湾 台北市			
相手方	別途参照			
目的	対縄と台湾の交流を図り相互の理解を深めさらなる発展に貢献する。			
日程概要 別途参照	月日(曜日)	時間	場所	内容
内容	(1) 台北港の視察 (2) 対縄梁人会との交流 (3) ストロ-製造工場視察 (4) 前対縄駐在所長の墓参			
成果及び所見	(1) 国際物流の観点から学ぶべきところが多かった。 ベルトコンベアを使って船に砂利等を搬入・出する際 周囲に備散しないよう、建物内を通過させ徹底管理している。 (2) ビジネスや留学等で多くの県人が活躍している事が判った。 これからも経済・文化・人的交流を図る必要がある。 (3) プラスチックに替え環境に優しい紙製品への転換が 図られている。対縄にも取り入れる必要がある。 (4) 蘇さんは対縄と台湾の交流に尽力された、心から 感謝を述べ追悼した。			
備考				

視察調査報告書

平良 昭一

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年 10月30日～11月1日			
場所	台湾台北市			
相手方	台北市議会等			
目的	琉中真善友好使節団として経済、物流、環境等の視察			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	10/30(水)	10:15		台北桃園空港行き
		13:00	グロリアアウトレット	視察
		14:30	台北港	国際物流関係調査
	10/31(木)	10:00	林口新創園區視察	企業支援視察
		13:30	紙製ストロ製造工場	視察
		15:30	台北市議会訪問	懇談
	11/1(金)	10:00	蘇啓誠氏墓参り	金貫山墓園
		17:20	チャイナエアライン	那覇空港行き
内容	国際物流関係の港湾施設視察、企業支援プラットホーム視察、環境対策の視察、台北市議会表敬、台中市議会表敬、蘇啓誠氏の墓参等			
成果及び所見	<p>グロリアアウトレットは巨大なショッピングタウンであり、家族が楽しめるような遊園地的な存在であり交通の便もよく利用価値は多岐にわたる施設である。台北港は埠頭数が25もある世界的な商業港である。台北港コンテナ埠頭株式会社が2003年8月28日よりBOT方式での50年契約を政府と調印している。BOT方式とは外国企業が自ら資金調達を行なって途上国にプラントを建設し、一定期間現地で操業を行い、その収益で投下資本を回収した後そのプラントを相手国に引き渡す方式であり、まだまだ拡大していく予定だという。林口新創園區は、2017年8月に台北で開催された第29回ユニバーシアード競技大会の選手村として建設された建物の一部を改造し、アジア初の企業支援プラットホーム集積拠点であり新規創業者向けに入居1年目の賃貸料が無料、2年目は50%割引されるなどの特典もあり、企業設立へのバックアップ施設である。紙製ストロ製造工場は視察、台湾では百貨店やファストフード店などで使い捨てのプラ製ストローの規制が始まった影響で紙ストロー研究・開発に取り組んできた。プラスチックごみ対策が世界的に進む中、日本でも早急に対策を講じなければならないと感じた。台北市議会の表敬では、首里城火災へのお見舞いがあり、これまでの台湾と沖縄の交流の歴史とつながりを再確認する事が出来た。台湾と沖縄の交流に尽力した蘇啓誠氏の墓参を金貫山墓地で行った。</p>			
備考	3泊4日の日程であったが、首里城火災の影響で公式行事以外はキャンセル、自粛を行い日程を繰り上げて帰沖になった。			

視察調査報告書

新垣 清涼

経費区分	調査研究費			
年月日	2019年10月30日～11月1日			
場所	台湾 (台北)			
相手方	国際物流関係、沖縄県人会、台北市代会、その他			
目的	物流、観光関係視察			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	10月30日(水)	14:30	台湾港務股份有限公司台北港	国際物流関係
	10月31日(木)	13:30～	亞洲紙管公司	紙製ストロ-工場視察
	"	15:30～	台北市議員表敬	江志銘議員と懇談
	11月1日(金)	10:30 19:45	金寶山墓園 那霸空港着	前沖縄駐在所跡の墓
内容	台北での国際物流関係の活発さの視察、環境にやさしい紙製品(ストロ-製造)の取組み。			
成果及び所見	物流関係の活発な取組みは学ぶべきである。環境にやさしい製品開発への取組みを学んだ。31日(金)早朝に「首里城火災」の報に接し、1日早く帰路につく。			
備考				

視察調査報告書

玉城 満

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年 10月30日～11月1日			
場所	台湾台北市			
相手方	台北市議会、県人会、台湾経済界等			
目的	沖縄と台湾交流促進			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	10/30水	10:15	エバー航空	台北登園空港行
		13:00	グロリアアウトレット	視察
		14:30	台北港	物流視察
	10/31木	10:00	林口新創園區視察	企業支援視察
		13:00	紙製ストロー工場	視察
	11/1金	10:00	蘇啓誠氏墓参り	金寶山墓園
	17:20	チャイナエアライン	那覇空港行	
内容	グロリアアウトレット視察・台北港の視察・県人会との交流会・企業支援プラットホーム視察・ストロー工場視察・台北市議会表敬・全沖縄駐在所長の墓参			
成果及び所見	台湾のアウトレットはテーマ性に優れており沖縄も地元文化を取り入れた複合施設建設の在り方を再考すべきである。台北港は規模として壮大であり、沖縄の物流戦略も内陸部の整備とインフラのありかたを見直すべきである。台湾の企業支援は国としての骨太の政策が壮大でスピード感満ち溢れている。そういう意味でも沖縄は一国二制度を推進しダイナミックな企業支援を展開すべきである。台湾が取り組む紙ストローは今後世界の主流になると思われる。沖縄も環境、安全面からも見直す必要がある。今回の視察の初日の深夜に首里城炎上のニュースがNHK国際放送で生中継された。信じられない光景だ。翌日の台湾メジャー2紙が一面に炎上した首里城の写真を掲載し哀悼の意を伝えた報道は琉球台湾の昔ながらのきずなを感じざる負えなかった。その日のうちに外務省では基金を創設し支援体制を国としてスタートさせたのにも驚かされた。琉中議員連盟今後とも継続すべきである。			
備考				

視察調査報告書

上原 正次

経費区分	調査研究費		
年月日	2019年(令和元) 10月30日 ~ 11月1日		
場所	台湾・台北市		
相手方	国際物流団体、台北市議会、中華総会		
目的	中華総会と懇親会、本議会と意見交換、物流のあり方		
日程概要	月日(曜日)	時間	場所
	10月30日(木)	10:15	
		13:00	グリアアウット
		14:30	台北港
	10月31日(金)	8:30	中元ロビ-喫茶室
		10:00	林口新創园区視察
		13:30	亞洲紙管公司
内容		15:30	台北市議会訪問
	11月1日(土)	10:00	蘇啓誠市長参り
		17:20	中華行エアビル
内容	台北市の国際物流拠点の視察、あり方、台北市議会、紙管の市長と議員の視察のあり方、陳情等、地球環境、紙管の製造、普及の現状		
成果及び所見	隣国台湾の国際物流港の役割、中華総会を参考に成り、環境を考慮、紙管の普及は世界規模で考え、地球環境、生産コスト、紙管の普及、視察の成果、台北市議会との陳情や視察の背景、席上での意見交換(市長と議員)のやり取り、熱心な職員への感謝の高さ、材料、見直し、首長と議員の報告は各々の議員、職員含め褒め感、感謝、		
備考			

視察調査報告書

赤嶺 昇

経費区分	調査研究費			
年月日	令和元年10月30日～11月1日			
場所	台湾 台北市			
相手方	台北市議会、沖縄県人会、台北港、林口新創園區、紙製ストロー工場等			
目的	台北市議会、台湾経済視察、国際物流関連等の視察調査			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	10月30日(水)	10:15	エバー航空	台北登園空港行き
		13:00	グロリアアウトレット	視察調査
		14:30	台北港	視察調査
	10月31日(木)	10:00	林口新創園區	視察調査
		13:00	紙製ストロー工場	視察調査
11月1日(金)	17:20	蘇啓誠氏墓参り	金寶山墓苑	
内容	1、グロリアアウトレットの概況視察調査。2、台北港の運営状況の視察調査。3、林口新創園區アジア初の企業プラットフォーム集積拠点の視察調査。4、世界的にニーズが高まる紙製ストロー工場の視察調査。			
成果及び所見	1、グロリアアウトレット→台湾桃園市にある屋外型としては台湾最大のアウトレットモールであり、台湾新幹線の高鉄桃園駅にもつながっており、交通手段が便利である。遊園地機能の備わっており家族で楽しめる。沖縄も参考にする価値がある。2、台北港埠頭数が25あり、台北港コンテナコンテナふ頭株式会社が2003年よりBOT方式で50年契約を締結している。那覇港とのさらなる連携を探る必要がある。3、林口新創園區アジア初のプラットフォーム集積拠点であり、企業設立のバックアップ拠点となっているため、企業支援が期待される。沖縄県も新規ビジネスを手掛けるベンチャーの支援を積極的に支援していくべきである。4、海洋汚染等の問題でプラスチック製のストローの削減が世界的な課題である。台湾は、いち早く紙製ストローの活用に取り組んでおり、沖縄県も海洋資源保護の観点から日本のどこよりも積極的に紙製ストローの活用を推進していく必要がある。			
備考	10月31日の首里城火災により、公式日程以外はすべてキャンセルし、自粛を行い、日程を繰り上げて帰ってきました。			

視察調査報告書

会派おきなわ 親川敬

経費区分	視察調査費			
年月日	令和元年 10月30日(水) ~ 11月1日(金)			
場所	台湾			
相手方	台北物流港、紙ストロー製造現場、台北市議会			
目的	環境対策として紙ストロー及び台北市議会一般質問方法等の調査・研究を行う。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	10月30日(水)	10時15分	那覇~台北 台北物流港	移動 物流港の現状と整備計画
	10月31日(水)	9時00分	紙ストロー製造現場 台北市議会	市議会意見交換
	11月1日(木)	6時00分	台北~那覇	移動
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○台北港貨物ターミナル会社 台北港コンテナターミナルにてコンテナターミナルの整備計画と取扱貨物の状況を視察調査 ○紙ストロー工場視察 ○台北市議会 			
成果及び所見	<p>【成果及び所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○台北港貨物ターミナル会社 ・台北港 台北港は、基隆港の補助港として発展してきた。 港の背後には高速道路が接続し、台北まで30分、桃園国際空港まで20分とアクセスも良好な位置にある。 港湾の広さは、基隆港の5.5倍の広さを有していて、主に石油製品、完成自動車、コンテナを取りあつかっている。 2016年のコンテナ取扱量は基隆港を超え、現在コンテナの取り扱い量は、160万TEU(安謝港は8万TEU)その理由として基隆港は喫水が浅く最近の大型船の出入りに十分な対応ができていないため台北港が発展してきた。 台北港は、自動車輸入港としても機能が充実している。その理由として広大な面積を有効活用できる、港周辺に自動車の組み立て工場が立地しているなど条件整備にも力を入れてきたことが挙げられる。 台湾の輸入自動車の7割がこの港を利用している。方式としては物流業者が自動車部品を輸入し、港内に組み立て工場を配置及び周辺の委託先企業において加工、組み合わせを行い完成車として中東などへ輸出を行う方式となっている。 ・管理運営体制 設立当初は、台湾政府が設置・管理・運営する形でスタート。2012年から民営化により運営を行っている。民間の投資スピード感、機動力、融通性を強調していた。 ・沖縄琉球海運との連携も視野に入れた計画がある。 琉球海運は現在米国から5万台の中古車を輸入しているが、台北港を利用した連携ができないか提案も行っている。 ○紙ストロー工場 プラスチックごみによる海洋汚染が重大問題となっている今、独自技術による紙ストローの生産を行っていて、輸出先に日本も大きなウエイトを占めている。 ○台北市議会 一般質問の状況を視察・事務局から説明を受けた。 			
備考				

沖縄県議会台湾視察 4 日間行程表

(BR 出発用)

日 程	時 間	行 程	食 事
10/30 (水)	08:00 10:15 10:55 14:30 18:30	<p>議会棟集合、バスにて那覇空港国際線ターミナルへ</p> <p>エバー航空 113 便にて台北へ (約 1 時間 40 分、10:55 到着)</p> <p>入国手続き後、空港近くの海鮮料理レストランにて昼食。</p> <p>食事の後空港近くの『グロリアアウトレット』視察</p> <p>チャイナエアライン便と合流後視察へ (桃園空港～台北港約 40 分)</p> <p>臺灣港務股份有限公司臺北港、台北港貨櫃碼頭股份有限公司 (国際物流関係、14:30～16:30)</p> <p>康華大飯店(ホテル)チェックイン</p> <p>「沖縄県人会」との懇親会</p>	<p>老船長餐廳</p> <p>康華大飯店</p>
10/31 (木)	09:00 10:00 13:30 15:30 17:30	<p>ホテル内レストランにて朝食 (6:30～)</p> <p>ホテルより出発、移動約 45 分</p> <p>林口新創園區 (アジア初の起業支援プラットフォーム) 視察、10:00～11:20</p> <p>人気ある客家料理をご賞味ください</p> <p>亜洲紙管公司 (紙製ストロ製造工場) 視察、13:30～14:30</p> <p>台北市議会表敬訪問、15:30～16:30、台北市議会江志銘議員懇談、16:30～17:00</p> <p>外交部台湾日本関係協会主催懇親会 (中止)</p>	<p>バイキング</p> <p>大楊梅鵝莊</p>
11/1 (金)	14:30 17:20 19:45	<p>ホテル内レストランにて朝食</p> <p>A 班:台北国際貿易中心南港展示館視察 (MICE 関係) B 班:金寶山墓園 上引水産視察 (観光関係)</p> <p>昼食 (12:30～13:20)</p> <p>専用車にて空港へ、(15:20 桃園空港着)</p> <p>チャイナエアライン CI122 便ご利用 (約 1 時間 25 分)</p> <p>那覇空港到着、入国手続き後バスにて議会へ</p> <p>～～～解散・お疲れ様でした～～～</p>	<p>バイキング</p> <p>好記台菜</p> <p>機内食</p>

※10/30(水)の首里城火災により、日程を 1 日繰り上げて帰沖した。

琉中友好使節団に係る経費（予定）について

総 額：132,300円（1人あたり）

○個人負担経費 84,000円（政務活動費充当可能）

航空運賃（燃油サーチャージ含） 43,500円

宿泊費（3泊） 40,500円

○連盟負担金 48,300円

食事（昼3～4、夕食3）、新幹線、現地費用（専用車、ガイド）等

※訪問先へのお土産も別途連盟予算より支出します。

※上記費用以外、別途共通経費（1万円）を徴収します。

※議員個人負担経費及び共通経費、海外旅行保険料については、
10月分議員報酬より天引きいたしますので、予めご了承願います。

沖縄県議会台湾視察 4 日間行程表 (案)

日 程	時 間	行 程	食 事
10/30 (水)	10:00	那覇空港 国際線ターミナル集合 (※議会バスを利用する場合は、9時40分に議会棟正面玄関に集合)	
	11:55	チャイナエアライン 121 便にて台北へ (約 1 時間 25 分)	機内食
	12:30	入国手続き後、専用車にて視察へ (桃園空港～台北市内, 約 50 分)	
	14:30	台北港視察 (国際物流関係) ホテルチェックイン 県人会及びボランティア受け入れ団体との意見交換及び懇親会	夕食
10/31 (木)		ホテル内レストランにて朝食 (6:30～) 林口スタートアップテラス (商業関係) 市内レストランにて昼食 紙ストロー製造現場視察 (環境関係) 台北市議会表敬訪問 外交部亜東関係協会表敬訪問及び懇親会 (外交部主催)	バイキング 昼食 夕食
		ホテル内レストランにて朝食 (6:30～) 台湾新幹線にて台中市へ移動 街づくりの取り組み視察 (観光関係) 市内レストランにて昼食 台中市議会表敬訪問 台湾新幹線にて台北市へ 中琉文化経済協会表敬訪問及び懇親会 (中琉協会主催)	バイキング 昼食 夕食
11/2 (土)		ホテル内レストランにて朝食 (A班) 台北国際貿易センター他 MICE 施設視察 (観光関係) 上引水産視察 (観光関係) (B班) 蘇啓誠前處長のお墓参り 昼食 (12:30/13:20)	バイキング 昼食
	14:45	専用車にて空港へ (約 40 分、予定/14:45～15:25)	
	17:20	チャイナエアライン 122 便にて沖縄へ (飛行時間約 1 時間 25 分)	機内食
	19:45	那覇空港到着 ～～解散・お疲れ様でした～～	

広報紙充当可能割合確認票

議員名

会派おきなわ

広報紙名	紙面割合
議会活動 報告書 瑞慶覧 功	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $21\text{cm} \times 59.1\text{cm} \times 2\text{面} = 2482.2\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 222.7cm^2 ① $14.5\text{cm} \times 10.4\text{cm} = 150.8\text{cm}^2$ ② $4.6\text{cm} \times 7.3\text{cm} = 33.6\text{cm}^2$ ③ $9.1\text{cm} \times 4.2\text{cm} = 38.3\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (222.7\text{cm}^2 / 2482.2\text{cm}^2) = 0.9103 \approx 91/100$ 以下
議会活動報告書 平良 昭一	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $21\text{cm} \times 20\text{cm} \times 16\text{面} = 6720\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 166.4cm^2 ① $9.4\text{cm} \times 17.7\text{cm} = 166.4\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (166.4\text{cm}^2 / 6720\text{cm}^2) = 0.9752 \approx 97.5/100$ 以下
議会活動だより 第4号 上原 まさじ	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $21\text{cm} \times 20\text{cm} \times 16\text{面} = 6720\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 46.5cm^2 (① $4.6\text{cm} \times 5.5\text{cm} = 25.3\text{cm}^2$ ② $4.6\text{cm} \times 4.6\text{cm} = 21.2\text{cm}^2$) ●充当可能割合: $1 - (46.5\text{cm}^2 / 6720\text{cm}^2) = 0.9931 \approx 99.3/100$ 以下